

福島原発事故から9年目の今。

避難元の現状と、区域外避難者の現状。

今なお続く放射能汚染と困難。

計測すること記録することの大事さを伝えたい!!

福島県福島市は、事故が起きた原発から北西に60キロ。
多くの市民は「ここまで放射能の影響はないだろう。」と安心していました。

テレビやラジオでは一様に「屋内退避」のみをアナウンスし、やむを得ず外出する際は、できるかぎり肌を露出せず、帰宅した際は、着ていた洋服を処分するか洗濯し、すぐさまシャワーを浴びてくださいとのことでしたが、「洗濯する水も、シャワーする水もないのに、一体どうしろというのか?」私は、ぶつけどころのない不満と共に、国や行政への不信感を募らせていました。

福島県が発表した福島県各地の放射線量は、「県内7方部 環境放射能測定結果(暫定値)」で見ることができました。
それによれば、福島市における放射能値は、2011年3月15日の16時頃からみるみる上昇し、18時40分には、毎時 24.24 マイクロシーベルト(原発事故前の600倍)に達しました。

福島の原発事故から8年、避難元は今どんな状況なのか?
2019年2月、心不全で亡くなった父親の葬儀のために福島に帰還をした際、避難元の放射線量を測定したところ、0.20 マイクロシーベルト(原発事故前の5倍)を測定。その上、目の前の空き地には除染袋の山。近づくたびに放射線量がググッと上昇しました。

「ふつうの暮らし」とは?

9年目の福島と区域外避難者の現状緊急レポート!!



報告者: **KATO** さん

原発賠償関西訴訟・九州玄海原発訴訟原告。

2000年ドイツ人パートナーと婚姻し渡独。2007年ドイツから帰国し福島へ移住。2011年福島第一原子力発電所事故により福島県から京都府へ区域外避難。避難後は、脱原発候補者応援弁士、避難者住宅の自治会役員、原発賠償関西訴訟原告事務局を担う。

避難者手記を「ねっとわーく京都」、「現代思想」、「NONUKESVOICE」に寄稿。

WEB:<http://blog.livedoor.jp/kodomohisaisyakoto/>

WEB:<http://nuclearpowerplant311.livedoor.blog/>

測定所6周年プレ企画として、被ばくの真実にしっかりと向き合うために、原発事故避難移住者のKATOさんに「原発事故当初から9年目の今」と題して、お話を聞く集いを行います。

原発事故発生から8年間、この国で何が隠され奪われてきたのか、事実と現実を知ること、どう向き合い続けていくかを交流できればと思います。

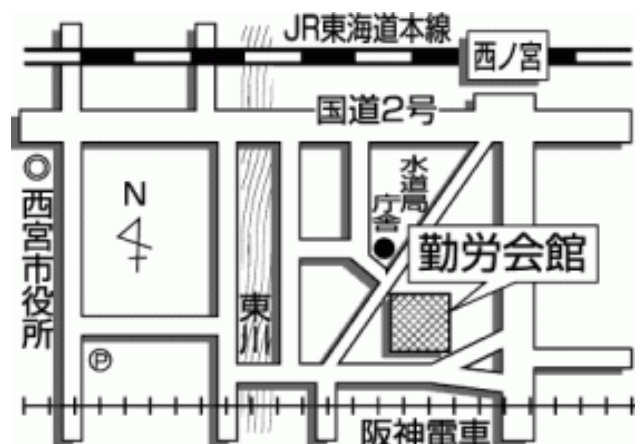
【日時】 2019年4月27日(土)13:30より

【会場】 西宮市勤労会館 第3会議室

【参加費】 300円

【定員】 30名

※当日参加も可能ですが、人数把握のため、ご予約いただければ幸いです。



※JR 西宮駅より7分、※阪神西宮駅より10分

阪神・市民放射能測定所 〒6612-0916 西宮市戸田町5-21 つむぎの家

TEL:050-5317-40146 FAX:0798-34-2315 Mail: shs.hanshin@gmail.com ブログ: <http://hanshinshs.blog.fc2.com/>